

人権まちづくり新聞



第16号
編集発行
枚方人権
まちづくり協会

人権が尊重される社会をめざして

枚方人権まちづくり協会総会を開催

五月三十日、メセナひらかた会館において、枚方人権まちづくり協会の二〇一九年度総会が行われました。総会では上野精順理事長があいさつで「一人ひとりの人権が尊重される社会をめざして活動していきます」と述べられ、続いて枚方市

から出席いただいた長沢副市長、上野市議会副議長、奈良教育長のごあいさつをいただきました。

審議に入り、前年度事業報告、活動決算が可決され、続いて今年度の事業計画・活動予算及び理事選任について、いずれも原案通り可決されました。事業計画では、8月にアニメ映画「若



おかみは小学生！」の上映、9月に連続講座「生きること」と、映画「ケアニン」あなただよかった」の上映、10月に講演会の開催や「ドイツ館」「阿波十郎兵衛屋敷」への現地会員研修、12月にコンサートを予定しているとの説明がありました。その後、会員研修として「はだしのゲンを見たヒロ

シマ」の上映があり、映画では「はだしのゲン」の作者、中沢啓治さんが幼いころの広島での被爆体験や、「はだしのゲン」に込めた思いを語られました。

シリーズ 人権な街角

ベビーカーをたたまずに乘れるバス

最近、市内で、ピンクのベビーカーマークを貼ったバスを見かけるようになり



ベビーカーマーク

ました。これは「ベビーカーを折りたたまずに乘れる」ことを表しています。

片手に子どもを抱え、もう一方の手で折りたたんだベビーカーを持つというのは、幼児を連れてバスに乗る人には大きな負担。そこで、このマークの付いているバスでは、運転手に告げるとベビーカーを折りたた

まずに固定してもらえ、負担が軽くなるのです。もちろん、そのためには、時には他の乗客が固定場所のために席を譲るといっても必要になり、市民の理解と支持が欠かせません。

もともと子どもは、社会全体で育てるもの。子育て中の人への共感と支援があつてこそ、人は安心して、子を産み、育てられます。枚方市が子育て中の人に優しく、子育てしやすい街であつてほしいと思います。

枚方人権まちづくり協会の相談事業

- 〈人権まちづくり協会〉
サンプラザ1号館5F
TEL 072-844-8788
- 〈男女共生フロア・ウィル〉
サンプラザ3号館4F
TEL 072-843-5636
- 女性のための相談
- [電話相談]
火15:00-20:00
水13:00-17:00
木10:00-15:00
直通電話072-843-7860
- [面接相談]※
水13:00-16:10
木14:50-19:30
金10:00-15:00
- [法律相談]※
第1土・第2金13:20-15:50
第3木17:20-19:50
第4火10:20-12:50
- 男性のための電話相談
第1土14:00-17:00
第4木18:00-20:00
直通電話072-843-5730
- [人権なんでも相談]
月～金 9:00 - 17:30
ただし、第2火 12:45-17:30
第4木 12:30-17:15
- [地域就労支援相談]※
月～水・金 9:00-17:30
- [進路選択支援相談]※
火13:00-17:00
18:00-20:00
- [福祉なんでも相談]
月～金 9:00-17:30
直通電話072-844-8866

※の相談は予約が必ず必要です。それぞれの施設で予約してください。

市民や外国人の居場所

「よみかき」教室を訪ねて

枚方市には、現在4千人を超える外国人が暮らしています。また、外国人労働者の受け入れを拡大することを目的にした改正出入国管理法の施行（4月1日）にともなって、今後さらに増えることも考えられます。



楠葉生涯学習市民センターの「よみかき」教室

地域で暮らす外国人にとって、日本語の習得は生活に欠かせない問題ですが、枚方市に住む外国人の日本語習得に大きな役割を果たしているのが、市内6カ所の生涯学習市民センターで行われている「日本語・多文化共生教室『よみかき』」です。

編集部では、そんな教室のひとつであり、枚方で最初に始まった楠葉生涯学習市民センターでの「よみかき」教室を訪ねてきました。一九八二年に、当時は近隣では守口市にしか夜間中学校はなく、「文字を学びたい」という市民の願いにこたえて始まった「よみかき」教室。

開設当初の学習者は、義務教育を十分に受けられなかった人や中国残留から帰国した人、在日韓国・朝鮮人が多かったといえます。しかし、今では、中国に加え

て、ブラジル、ベトナムなど出身国は多岐に渡り、研修生や留学生として来日した人が多くなっているとのことでした。

長年コーディネーターを務めて来られた大倉さんは、「『よみかき』教室は、言

葉を学ぶだけでなく、日本文化に触れ、暮らしを豊かにし、自己実現をめざしてもらおう場」であり、「学習者の分かったときの笑顔、しだいに話せるようになること、長く続いている人との交流などがうれしい」と話してくださいました。

「よみかき」教室が「日本語を学びたい」人々の居場所や交流の場として、さらに発展することを願いつつ、教室を後にしました。

枚方人権まちづくり協会では、枚方市からの委託により各種相談窓口を開設しています。

人権なんでも相談

普段の生活の中で自分自身が体験したり、身の回りで見聞きした事案の中に「これって人権侵害ではないか？」と思われたことはありませんか？

また、「どこかに相談したいけれど、どこに相談したらいいのかわからない」と一人で悩んでいませんか？

枚方人権まちづくり協会では市民の皆さんの人権に関するお悩みや困りごとについて『人権なんでも相談』を行っています。

相談員は、相談者のお話をじっくり聴き、寄り添いながら、助言や情報提供をしたり、場合によっては事案に適した専門機関をご紹介するなど、相談者の悩みや困りごとについて一緒になって考えます。もちろん、相談者の個人情報漏れるということはありません。

人権にかかわることはもちろん、「これって人権に関係するのかな？」と迷われることでも、なんでも安心してご相談ください。

相談の日時等は、本紙おもて面の右下、「枚方人権まちづくり協会の相談事業」をご覧ください。

会員随時募集

枚方市を市民一人ひとりの人権が大切にされるまちへ。（年会費1口 1000円）

NPO法人 枚方人権まちづくり協会

TEL:072-844-8788 FAX:072-844-8799